

令和2年度2月補正

支出科目	款：総務費	項：地域振興費	目：交通輸送対策費
担当課	地域力創造課		
事業名	生活交通確保対策事業（単県）		

目 的

地域の幹線的なバス路線を重点的に維持し、広域的な生活交通の安定的な確保を図る。

事業説明

対象者

乗合バス事業者、市町

事業内容

社会機能維持の観点から路線バスの運行を継続する中で、外出自粛や休業要請等により、利用者数が減少し、収益が落ち込む事業者に対して、国と協調して路線維持に必要な費用を支援する。

(単位：千円)

内 容		2月補正 要求額
1 地域間幹線系統 (国・県協調補助)	<地域間幹線系統確保維持費補助金> 地域間幹線系統を運行する事業者に対する補助 国と協調し、特例的に広島県地域間幹線系統確保維持費補助金の要件を緩和する。 ①乗車密度カット 平均乗車密度5人未満の系統については、みなし運行回数により補助金を算定 ②競合カット 他系統との競合区間の合計が50%以上の系統で、競合系統の輸送量の和が1日当たり150人を超える系統は競合している区間を除いて補助金を算定	107,295
	<車両減価償却費等補助金> 地域間幹線系統を運行する車両を導入する事業者に対する補助	—
2 広域生活交通路線 確保維持費 (県・市町協調補助)	広域的系統を運行する事業者に対する補助 ※令和2年度は、系統毎の利用者数の減少率に応じて特例的に要件を緩和。	—
3 事業者路線再編調査 支援費	各市町が行う路線再編に係る調査費を補助	—
4 各種会議運営費	公共交通に係る会議の運営費等	—
合 計		107,295

成果目標

○ ワーク目標：路線バス等の生活交通が維持された市町数（H30実績）23市町（R2目標）23市町

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	107,295	0	0	0	0	0	0	0	107,295
要求額	107,295	0	0	0	0	0	0	0	107,295
現計予算額	494,314	42,000	0	0	0	364,506	0	0	87,808

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：総務管理費 目：国際交流費 款：労働費 項：雇用対策費 目：雇用対策事業費
担当課	国際課, 雇用労働政策課
事業名	外国人材の受入・共生対策事業（一部国庫）

目的

県内企業等において、特定技能等の外国人材の受入れが適正かつ円滑に行われ、外国人が、県内企業で活躍し、孤立することなく県民の一員として地域に溶け込み、安心して生活できる環境を整える。

事業説明

対象者

外国人材を受け入れている又は受け入れようとしている県内企業、県内在住の外国人、県民

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	要求額
外国人材の受入・共生対策事業 【商工労働局】	○企業等を対象とした情報提供の充実 外国人材の雇用に課題を抱えている企業等を対象とした、セミナー及び業界団体からの要請等に応じた出前講座の実施 【情報提供内容】 ・外国人が抱える実際の課題や対応事例等 ・コミュニケーション等の課題解消のための対策やノウハウ ・生活支援に有益な行政サービス等の情報 (医療、防災、日本語教室、地域交流等) ・企業等向け相談窓口の情報 等 ※ 出前講座では情報提供用動画等を活用して実施	2,707
多文化共生の地域づくり支援事業 【地域政策局】	○外国人との共生推進事業 外国人が地域と繋がりを持ちながら、生活に必要な情報を共有できる仕組みづくりを市町と連携して実施 ○異文化理解促進プログラム 小中高生を対象とした異文化体験講座等を実施	4,871
	○外国人専門相談窓口の運営及び地域日本語教室の拡充 在留資格や労働問題などに関する多言語専門相談窓口の運営と、地域日本語教室の拡充に向けた取組を実施	40,185
	○外国人への情報提供の充実 県ポータルサイト(Live in Hiroshima)から、生活関連情報、地域行事、イベント情報等を多言語でSNS等により発信 ○外国人生活環境調査 外国人に対する生活環境面の取組の効果や課題等を把握するための調査	1,640
	小 計	46,696
	合 計	49,403

成果目標

(就労面)

○ ワーク目標：県から外国人材の受入れに関する情報提供を受けた企業のうち、有益な情報を得た企業の割合
(R1実績) 42.4% (R3目標) 60% (R7目標) 80%

(生活面)

○ ワーク目標：生活で困っていることがない(困った時に、すぐに相談できるを含む)と答えた外国人の割合
(R2(速報値)) 47% (R3目標) 51% (R7目標) 70%

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	49,403	14,314	0	0	0	0	35,089	0	0
要求額	49,403	14,314	0	0	0	0	35,089	0	0
前年度当初予算額	52,412	19,705	0	0	0	0	24,129	0	8,578

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興総務費
担当課	地域力創造課
事業名	ひろしまスタイル定住促進事業（一部国庫）【一部新規】

目的

「都市と自然の近接性」という地域特性を生かした広島らしいライフスタイルの魅力の発信や、移住相談窓口などの移住サポート体制の強化等を通して、ウィズコロナにより東京圏で高まりつつある地方移住の機運も踏まえ、移住・定住につなげる仕組みづくりを進める。

事業説明

対象者

東京圏を中心とした移住希望者，市町

事業内容

		(単位：千円)
内 容		要求額
広島らしい ライフスタイルの 魅力発信	○デジタルマーケティングの手法を用いた情報発信 ○ホームページによる情報発信 ○市町や企業等と連携した移住フェアの実施	35,780
移住希望者と 地域のマッチング	○相談窓口の運営，相談者の来広支援 ○AIを活用した相談対応システムの運用	34,414
移住者に対する 受け皿づくり	○移住希望者層に応じた現地ネットワークづくり【新規】 ○移住者の受け皿となる仕組みづくり ○移住支援金の交付【新規】 ○交流定住促進協議会への参画	20,355
合 計		90,549

※財源は地方創生推進交付金を活用

成果目標

- ワーク目標：県外からの移住世帯数 (R1実績) 199世帯 (R3目標) 487世帯 (R7目標) 705世帯
- 事業目標：東京窓口相談件数 (R1実績) 2,066件/年 (R3目標) 2,300件/年
A I 移住相談窓口登録者数 (R3目標) 20,000人/年

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査 定 額	90,549	5,150	0	0	0	0	0	0	85,399
要 求 額	90,549	5,150	0	0	0	0	0	0	85,399
前 年 度 当 初 予 算 額	87,821	0	0	0	0	0	0	0	87,821

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算・令和2年度2月補正予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：スポーツ推進費
担当課	スポーツ推進課
事業名	メキシコ選手団等事前合宿受入推進事業（一部国庫）【一部新規】

目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、メキシコ合衆国等の選手団の事前合宿を県内各地で受け入れるとともに、各合宿地において、合宿を契機とした、スポーツ、経済、文化等、幅広い分野での交流を行い、県域全体の活性化につなげる。

事業説明

対象者

県民、市町、経済界、JOC、JPC、国、競技団体等

事業内容

【広島県ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策基金（仮称）充当】

（単位：千円）

区 分	内 容	要求額	
		令和2年度 2月補正予算	令和3年度 当初予算
事前合宿受入支援	○広島県ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策基金（仮称）積立金【新規】	315,944	—
	○オリンピック・パラリンピック選手団の合宿受入市町への支援 ○受入サポート員の配置 ○通訳ボランティアへの研修 ○新型コロナウイルス感染症対応【新規】	—	411,620
県内の機運醸成等	○全県的な合宿プロモーションの展開 ・ホームページの充実、保守 ・県内イベントや企業と連携したプロモーションの実施 ○東京2020大会後の交流の継続に向けた枠組の構築	—	11,710
合 計		315,944	423,330

成果目標

○ 事業目標：事前合宿にまつわる交流等の活動を実施した市町数 （R3目標）23市町

事業費

（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳								
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源	
査定額	令和3年度 当初予算	423,330	0	0	0	0	315,944	921	0	106,465
	令和2年度 2月補正予算	315,944	315,944	0	0	0	0	0	0	0
要求額	令和3年度 当初予算	423,330	0	0	0	0	315,944	921	0	106,465
	令和2年度 2月補正予算	315,944	315,944	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度 当初予算額	98,869	0	0	0	0	0	0	0	0	98,869

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：スポーツ推進費
担当課	スポーツ推進課
事業名	東京2020オリンピック聖火リレー等実施事業（単県）

目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に先駆けて県内で実施されるオリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルを安全かつ円滑に運営し、大会に向けた機運を醸成する。

事業説明

対象者

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、市町、関係団体、県民 等

事業内容

- オリンピック聖火リレーに係る安全確保、セレモニー開催市への支援等
 (実施日程) 2021年5月17日、5月18日
 (実施市町) 県内12市町
 1日目：三次市→庄原市→東広島市→呉市→坂町→広島市
 2日目：廿日市市→海田町→三原市→尾道市→府中市→福山市
- パラリンピック聖火フェスティバル（採火式、集火・出立式）の開催等
 (実施日程) 2021年8月12日～8月16日
 (実施市町) 県内全23市町

(単位：千円)

区 分	内 容	要求額
オリンピック聖火リレー		125,013
警備実施	○走行路、沿道観覧エリア、セレモニー会場の安全確保	105,000
セレモニー開催支援	○出発式、セレブレーションを開催する市への補助	10,532
その他	○交通規制の告知・周知 等	9,481
パラリンピック聖火フェスティバル実施事業		13,635
セレモニー開催	○採火式、集火・出立式の開催	13,015
アフターイベント実施	○パブリックビューイング、障害者スポーツ体験会の実施	620
合 計		138,648

成果目標

- 事業目標：オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルの安全かつ円滑な運営
 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた県内機運の醸成

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	138,648	0	0	0	0	0	52,500	0	86,148
要求額	138,648	0	0	0	0	0	52,500	0	86,148
前年度当初予算額	137,488	0	0	0	0	0	132,693	0	4,795

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：スポーツ推進費
担当課	スポーツ推進課
事業名	スポーツを活用した地域活性化推進事業（一部国庫）【一部新規】

目的

スポーツを核とした豊かな地域づくりに向け、スポーツを活用した地域活性化に取り組む。

事業説明

対象者

市町、スポーツ関係団体、県民等

事業内容

		(単位：千円)
	内 容	要求額
県内各地域の取組支援	○県内市町が、わがまち [♠] スポーツを推進する際に必要となるノウハウや人脈などの人的支援を実施するとともに、補助金による財政的支援を行う。 ・アドバイザーボード等によるノウハウ・人脈支援 ・県内市町の実施するスポーツを活用した地域活性化に係る取組の費用の一部に対するの財政支援 ≪財政支援概要≫ 上 限 額：1市町あたり5,000千円 対象事業：スポーツを活用した地域活性化に資する事業 (ソフト事業及びソフト事業に付随するハード事業) 補 助 率：1/2	36,717
スポーツ情報の一元化・戦略的情報発信【新規】	○地域のスポーツ資源であるスポーツチームを最大限活用し、県民の関心を高めるための仕組みを構築 ・広島横断型スポーツファンクラブの創設 ・県民に多くのチームを知ってもらうための新たなスポーツの楽しみ方の提供	30,000
スポーツアクティベーションひろしま(SAH)の組織運営	○スポーツを活用した地域活性化を推進するため、スポーツアクティベーションひろしまを運営	17,676
合 計		84,393

※財源は地方創生推進交付金を活用

【わがまち[♠]スポーツ】

地域のスポーツ資源を活用して、それぞれが目指す地域の活性化を図る取組。

【スポーツアクティベーションひろしま】

スポーツを活用した豊かな地域づくりに向け、地域のスポーツ資源を活用し、スポーツ関係団体の連携を図るとともに、ノウハウ等を十分に蓄積させる観点から令和2年4月に広島県庁スポーツ推進課内に、設置した広島版のスポーツコミッション

成果目標

- ワーク目標：「わがまち[♠]スポーツ」により目指すべき姿に向け取組を実施している市町数 (R2実績) 3市町 (R3目標) 6市町 (R7目標) 14市町

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	84,393	41,628	0	0	0	0	1,000	0	41,765
要求額	84,393	41,628	0	0	0	0	1,000	0	41,765
前年度当初予算額	52,758	21,764	0	0	0	0	2,000	0	30,994

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：総務管理費 目：国際交流費
担当課	平和推進プロジェクト・チーム
事業名	国際平和拠点ひろしま構想推進事業（単県）【一部新規】

目的

世界中のリーダーや研究者、NGOなど、幅広い人材や情報・知識、資金などの資源を広島に集め、結びつけ、つなぐことにより、核兵器廃絶や復興・平和構築などの分野の研究や活動が活発に展開される「国際平和拠点ひろしま」を実現することを通じて、平和で安定した国際社会の実現に貢献する。

事業説明

対象者

県民、世界平和を希求するすべての人々

事業内容

区 分		内 容	要 求 額
核兵器廃絶に向けた新たな政策づくりと多国間枠組みの形成	政策づくり事業	世界的な平和研究機関等と連携し、核抑止に代わる新たな安全保障政策づくりを推進する。（ひろしまラウンドテーブル開催、核軍縮研究国際ネットワークの運営、海外研究機関との共同研究、ひろしまレポート作成）	31,174
	多国間枠組み形成事業【新規】	国連等と連携し、新たな安全保障政策をベースにした多国間枠組みの形成を図る。（NPT運用検討会議での働きかけ、国際平和のための対話イベント等）	21,564
平和の取組への賛同者拡大と世界への働きかけ	国際社会等へのアクトリチ事業【新規】	国連や各国政府への働きかけ強化のため、多様な団体とのネットワーク化を図る。（TPNW締約国会議等の国際会議での働きかけ、広報戦略策定等）	19,786
広島が有する経験や資源を生かした復興・平和構築	人材育成強化事業	核兵器廃絶と国際平和の実現のため、グローバルに活躍し、平和貢献できる人材を育成する。（グローバル未来塾inひろしま、広島－ICANアカデミー）	11,800
持続可能な平和推進メカニズムの構築	プラットフォーム構築事業【新規】	多様な主体の参画を促すプラットフォームの構築を図るとともに、平和資源の集積機能等を備えた体制を整備する。（世界平和経済人会議ひろしまの開催、WEBサイトを通じた賛同者拡大、ひろしま国際平和創造センター（仮称）の運営等）	106,546
	拠点構想推進事業	国際平和拠点ひろしま構想推進のため、構想推進委員会の開催等を行う。	11,336
合 計			202,206

成果目標

- ワーク目標：新たな政策に係る記事や論文等がメディアや研究者等から発信された数（R1実績）2本（R3目標）4本（R7目標）100本
- 国連（等）で意見表明する資格を有するNGO等と連携した数（R3目標）2団体（R7目標）20団体（R3以降累計）
- 県が提供するプログラム等により、被爆、復興の歴史や被ばく者医療などについて学んだ人数（R1実績）10,000人（R3目標）13,000人（R7目標）20,000人
- 国際平和拠点ひろしまのウェブサイトの会員数及びSNS等の登録者数やアクション数の月間平均（R2推計）9,600件（R3目標）12,000件（R7目標）32,000件
- プラットフォームに参加する企業・団体等の数（R3目標）50団体（R7目標）1,000団体（R3以降累計）

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	202,206	0	0	0	0	0	2,285	0	199,921
要求額	202,206	0	0	0	0	0	2,285	0	199,921
前年度当初予算額	241,406	78,212	0	0	0	0	287	0	162,907

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	都市圏魅力づくり推進課
事業名	都市圏魅力創造事業（単県）

目的

広島都市圏及び備後圏域において、内外の多様な人材を惹きつける魅力と活力ある地域環境の創出に向け、各圏域の中心である広島市及び福山市と連携した取組を推進する。

事業説明

対象者

広島市，福山市，県民 等

事業内容

- 広島市都心部（紙屋町・八丁堀地区及び広島駅周辺地区）の中核拠点性の向上を目指して、広島市と連携して取り組む。
- 備後圏域の活性化につながる福山駅前の魅力の向上を目指して、福山市と連携して取り組む。

（単位：千円）

	内 容	要求額
魅力的な都市環境形成事業	≪広島市≫ 「ひろしま都心活性化プラン」に基づく都心のまちづくりの推進に係る市の取組を支援 ○ 広島都心部のまちづくりの推進 ・地域主体によるエリアマネジメント活動や体制づくりを支援	2,500
	≪福山市≫ 「福山駅前再生ビジョン」及び「福山駅周辺デザイン計画」に基づき福山駅前地区の再生を図ろうとする市に対し、ソフト、ハード両面での一体的な取組を支援 ○ 福山駅前地区のまちづくりの推進 ・エリアマネジメントの活性化に向けた人材育成・機運醸成の取組を支援 ※ 福山市三之丸町地区の再生の支援（土木建築局） ・優良建築物等整備事業（国庫補助制度）を活用する市に対して、備後圏域の賑わいづくりを牽引する施設を整備する事業者を支援するための経費の一部を補助する。 （事業名：福山市三之丸町地区再生促進事業 要求額：9,445千円）	3,500
	≪共通≫ ○ 先進事例調査・有識者ヒアリング等 ・広島及び福山における都心活性化の課題や促進策を検討するため、先進事例の調査・検討などを実施	1,369
合 計		7,369

成果目標

- ワーク目標：ひろしま都心活性化プランの実現に向けて広島市と連携した取組件数（H27以降累計）
 （R1実績）10件（R3目標）11件以上（R7目標）15件以上
 福山駅前の再生に向けて福山市と連携した取組件数（H30以降累計）
 （R1実績）3件（R3目標）4件以上（R7目標）8件以上
- 事業目標：人を惹きつける魅力ある都心空間の創出

事業費

（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	7,369	0	0	0	0	0	0	0	7,369
要求額	7,369	0	0	0	0	0	0	0	7,369
前年度当初予算額	7,473	0	0	0	0	0	0	0	7,473

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費 款：土木費 項：道路橋梁費 目：道路新設改良費
担当課	都市圏魅力づくり推進課
事業名	広島西飛行場跡地活用推進事業（単県）

目的

広島都市圏における高次都市機能集積強化により中枢拠点性の向上を図る。

事業説明

対象者

広島市，民間事業者

事業内容

- 広島西飛行場跡地利用計画に基づき，広島市と共同で関連事業に取り組む。
 - ・ 跡地活用に必要な交通アクセスの改善に向けた道路整備に係る工事
 - ・ 多目的スポーツ広場の整備
上記いずれも事業主体は広島市（負担割合：県1/2・広島市1/2）
 - ・ 新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討

（単位：千円）

区分	内容	要求額
基幹道路の整備等	工事（河川側道路）	40,000
多目的スポーツ広場の整備	工事（造成工事）	84,000
新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討	新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討経費	602
合計		124,602

成果目標

- 事業目標：広島西飛行場跡地の有効活用
（広島西飛行場跡地への交通アクセスの改善に資する道路整備，スポーツ・レクリエーション施設整備，新たな産業（にぎわい）ゾーンの活用に係る検討）

事業費（単位：千円）

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	124,602	0	0	0	0	0	0	120,000	4,602
要求額	124,602	0	0	0	0	0	0	120,000	4,602
前年度当初予算額	383,337	0	0	0	0	0	0	313,600	69,737

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	ひろしま里山・人材力加速化事業（単県）【一部新規】

目的

これまで発掘・育成してきた中山間地域の地域づくりリーダーの活動が、将来にわたって主体的かつ継続的に展開されるよう、資金調達支援や人材のネットワーク化を進めるとともに、多様な人材の確保に向けて、活動参画への一層の機運醸成を図る。

事業説明

対象者

県民等

事業内容

		(単位：千円)
区分	内容	要求額
地域づくり活動への機運醸成【一部新規】	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン「ミニ未来博（仮称）」の開催【新規】 開催時期 令和3年9月～12月（4か月間） 主な概要 <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり活動を紹介する特設サイトの開設（活動の動画配信等） ・オンライン体験プログラムの企画提案募集 ・オンラインプロモーションの実施 ・里山ココロザシカフェ（仮称）の開催（リアル及びオンライン配信）など 	34,600
	○ 「ひろしま里山グッドアワード」の実施	5,068
新たな人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ リーダー育成塾の開講 ・地域づくりのノウハウを学ぶ「ひろしま<<ひと・夢>>未来塾」の開講（第7期） 	10,000
チーム500を活用した活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中山間地域の活動実践者のプラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・登録者の地域づくり活動情報の発信 ・実践者間の交流促進 ・地域内外の人材をつなげるウェブサイトの運営 ○ 新たな活動支援のための環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・産学金官で構成する「さとやま未来円卓会議」による助言 等 ・自立的な活動実践に向けたクラウドファンディング活用支援 ○ 相談窓口「サポートデスク」の運営 	12,865
合 計		62,533

成果目標

○ ワーク目標：チーム500の新規登録者数 (R1実績) 65人 (R3目標) 75人 (R7目標) 75人

事業費

(単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	62,533	0	0	0	0	0	0	0	62,533
要求額	62,533	0	0	0	0	0	0	0	62,533
前年度当初予算額	38,090	0	0	0	0	0	0	0	38,090

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	ひろしま版里山エコシステム構築事業（一部国庫）【新規】

目的

中山間地域の課題解決に向けた地域団体や実践者の活動を広く紹介し、地域貢献に関心の高い企業等へつなぐための広島県の専用サイトを開設することにより、様々な関係者が活動を継続的に支えていくことのできる仕組みを構築する。

事業説明

対象者

地域づくり活動実践者、民間企業等

事業内容

		(単位：千円)
区分	内容	要求額
マッチングの 仕組みづくり	<p>○ 地域課題の解決に取り組む県内の団体等に対し、地域貢献に関心の高い企業から、幅広く支援を募るための仕組みの構築</p> <ul style="list-style-type: none">・ マッチングを行う広島県の専用サイトの開設・ 現地における活動への伴走型支援・ 団体等への寄付金の受入、交付（企業版ふるさと納税の活用） など	16,000

※財源は地方創生推進交付金を活用

成果目標

○ 事業目標：地域づくり活動団体と地域貢献企業とのマッチング体制の構築

事業費 (単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	寄付金	県債	一般財源
査定額	16,000	5,000	0	0	0	0	6,000	0	5,000
要求額	16,000	5,000	0	0	0	0	6,000	0	5,000
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	住民自治組織協働連携モデル推進事業（単県）【新規】

目的

人口減少が加速し、集落の小規模・高齢化が進む中山間地域において、集落の状況に応じた柔軟な地域運営や創意工夫を活かした課題解決の取組を後押しすることによって、中山間地域における地域力の強化を図る。

事業説明

対象者

市町、住民自治組織

事業内容

		(単位：千円)
区分	内容	要求額
住民自治組織の協働連携による地域課題の解決	<p>○ 複数の住民自治組織が連携した「安心な暮らしを支える取組」に対する支援</p> <p>【取組の事例】 生活交通、移住定住、鳥獣害対策、買い物支援、耕作放棄地など</p> <p>【支援方法】 市町への補助（10市町程度）</p> <p>【補助額等】 市町による住民自治組織への支援額の1/2（上限：1,000千円）</p>	10,000

成果目標

○ 事業目標：補助取組件数（R3目標）10件

事業費 (単位：千円)

	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	チャレンジ・里山ワーク拡大事業（国庫）【一部新規】

目的

中山間地域の遊休施設等を活用して、企業のサテライトオフィスの誘致や専門人材を確保しようとする市町を支援し、中山間地域における新しいワークスタイルの定着と企業誘致を促進する。

事業説明

対象者

中山間地域を有する市町、首都圏等のサテライトオフィスを検討する企業

事業内容

国の令和2年度第3次補正予算により創設される「地方創生テレワーク交付金（補助率：3/4〔高水準タイプ〕）」を活用して、市町と連携して取組を実施する。

（単位：千円）

区分	内容	要求額
お試し勤務施設の整備	○ 市町が行う、企業の「お試し勤務施設」の整備に要する経費の一部を支援 【対象市町】中山間地域を有する市町（3市町程度） 【補助率等】遊休施設等の改修、設備投資等に要する経費の1/2 （上限：10,000千円）	30,000
専門人材の確保【新規】	○ 市町と連携して、民間事業者による「コワーキング施設」の整備を支援 【支援方法】市町への補助（3市町、3施設程度） 【補助率等】市町による事業者支援額の1/2（上限：2,000千円） ○ 首都圏企業と専門人材のマッチング 【開催回数】3回程度 【実施内容】地方への進出を検討している首都圏企業とU・Iターン希望者のマッチングを実施	16,000
市町の誘致活動に対する支援	○ 市町が行う誘致・受入体制の強化に対する支援 ・ 誘致活動にかかる経費の支援（経費の1/2、上限：1,500千円） ・ 企業の現地受入等に要する経費の支援（経費の1/2、上限：1,000千円）	37,500
広報展開	○ サテライトオフィスの設置に関心の高い企業等が、広島県の里山で働く新しいワークスタイルを効果的に情報発信（ビジネス誌、web上の特設サイト等）	10,000
合計		93,500

成果目標

- ワーク目標：サテライトオフィス進出決定累計件数（R1実績）10件、（R3目標）25件、（R7目標）84件
- 事業目標：お試し勤務施設の利用件数（R1実績）77件、（R3目標）90件

事業費

（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	93,500	93,500	0	0	0	0	0	0	0
要求額	93,500	93,500	0	0	0	0	0	0	0
前年度当初予算額	35,100	0	0	0	0	0	0	0	35,100

※ 国庫支出金のうち、新型コロナウイルス感染症緊急対応地方創生臨時交付金（23,863千円）

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	中山間地域外部人材活用支援事業（単県）

目的

中山間地域において、人材不足などの課題を抱える中小企業が、外部人材を活用して、自社の経営課題に継続的に取り組んでいくための意識啓発を図る。

事業説明

対象者

中山間地域を有する市町の中小企業

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	要求額
外部人材活用に向けての普及啓発	<p>○ 外部人材の効果的な活用に向けた市町が主催するセミナーへの支援</p> <ul style="list-style-type: none">・ 外部人材の活用に向けた講師等の派遣・ 参加企業を対象としたアンケート調査・ 参加企業に対する外部人材活用に向けたフォローアップ <p>《セミナーの概要》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 対象市町 中山間地域を有する市町・ 開催回数 15回（10市町程度）・ 対象者 中山間地域の中小企業経営者、地元経済関係団体等	8,000

成果目標

○ ワーク目標：副業・兼業人材の活用に向けたセミナー参加企業数（R3目標）83社、（R7目標）111社

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	8,000	0	0	0	0	0	0	0	8,000
要求額	8,000	0	0	0	0	0	0	0	8,000
前年度当初予算額	8,000	0	0	0	0	0	0	0	8,000

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	中山間地域振興課
事業名	デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業（単県）【一部新規】

目的

中山間地域が抱える生活に身近な課題について、デジタル技術を活用して解決するための新たなサービスを導入しようとする市町の取組を支援し、広く中山間地域での普及展開につなげる。

事業説明

対象者

中山間地域を有する市町

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	要求額
構想策定支援 【新規】	○ 当該事業の実装に向けて、基本構想を策定する市町に対し、その策定経費を支援 【対象市町】 中山間地域を有する市町 【補助率等】 経費の1/2	10,000
実装への取組支援	○ デジタル技術を活用したサービスを通じて、中山間地域における身近な生活課題の解決を図る市町の取組を支援 【対象分野】 生活交通、農地保全、医療・福祉、防災・減災、移住・定住など 【対象市町】 課題解決に取り組む中山間地域を有する市町（市町による共同実施も可） 【補助率等】 事業費の1/2	100,000
合計		110,000

成果目標

- ワーク目標：県の事業を通じ、デジタル技術を活用した課題解決に向けて取り組む件数（R3目標）4件、（R7目標）10件以上

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	110,000	0	0	0	0	0	0	0	110,000
要求額	110,000	0	0	0	0	0	0	0	110,000
前年度当初予算額	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：交通輸送対策費
担当課	地域力創造課
事業名	鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業（単県）【一部新規】

目的

平成30年7月豪雨災害による被災からの全線復旧（R1.10）を受けて、中山間地域の魅力向上を図るため、鉄道網を地域資源として活用し、中山間地域ならではの地域交流の拡大や地域の利便性向上に取り組む市町・沿線協議会等を支援する。

事業説明

対象者

鉄道網を活用し、地域交流の拡大等に取り組む市町・沿線協議会等

事業内容

（単位：千円）

内 容		要求額
鉄道網を活用した地域交流の拡大等	○鉄道網を地域資源として活用した、地域交流の拡大等の取組を支援する。 ・鉄道を活用した広域観光の促進 ・鉄道路線・駅舎を活用したイベントによる地域の魅力発信 ・鉄道を核とした地域交通の利便性向上 《対象路線》JR芸備線、JR福塩線 《支援額》上限10,000千円	27,000
	○移動ニーズに基づく実証実験【新規】 ・沿線地域の潜在的移動ニーズの検証のための実証実験 ・鉄道利用の付加価値向上に向けた実証実験	

成果目標

- 事業目標：鉄道の利用者数の維持

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	27,000	0	0	0	0	0	0	0	27,000
要求額	27,000	0	0	0	0	0	0	0	27,000
前年度当初予算額	27,000	0	0	0	0	0	0	0	27,000

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：交通輸送対策費
担当課	地域力創造課
事業名	広島型MaaS推進事業（単県）【新規】

目的

交通事業者・利用者・受益者（商業施設等）が主体的に連携し、デジタル技術を活用しながら、交通と生活サービスをひとつのサービスとして提供する「広島型MaaS」を県内全域に展開することで、中山間地域等の地域公共交通や広域ネットワークの利便性と持続可能性の向上を図る。

※MaaS（マース）：出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念

※広島型MaaS：交通手段の統合にとどまらず、地域（住民）が主体となり、交通事業者、商業施設等の交通受益者と連携し、定額制の導入や生活サービスの統合などを行った新たな交通サービス

事業説明

対象者

市町等

事業内容

中山間地域での社会実装が可能な「MaaSを活用した新しい交通サービス」のモデルを構築するとともに、全県的な「広島型MaaS」の展開に向けた基盤づくりに取り組む。

（単位：千円）

内 容		要求額
調査事業 (MaaS社会実装計画)	○対象事業： 地域で支える生活交通の仕組みづくりのための調査・基盤づくり ・地域が主体となって検討会を実施し、MaaS社会実装計画を策定 ・必要に応じて短期の実証実験を実施 ○補助内容： 市町又は地域団体に対する補助（補助上限：2団体 2,000千円）	4,000
総合事業 (MaaS実証実験)	○対象事業： MaaSを活用し既存の交通システムの収益性を向上させる実証実験 ・MaaS社会実装計画に基づく実証実験 ○補助内容： 市町に対する補助（補助上限：1団体 10,000千円）	10,000
人づくり (研修・検討)	○市町担当者を対象とした研修会の開催 ○新たなモビリティ検討会の運営 ○市町担当者等へのGTFS（標準的なバス情報フォーマット）データ作成研修	10,000
モビリティ データ基盤構築	○モビリティデータ基盤の構築 ・公共交通データ、行政データの集積及び可視化等機能強化 ・実証実験の導入効果検証等、交通政策への活用	18,000
合計		42,000

成果目標

- ワーク目標：データと新技術を活用して都市や地域の抱える諸課題の解決に向けた取組に着手している市町数（R2実績）6市町 （R3目標）8市町 （R7目標）23市町
新たな交通サービスの導入に向けた取組件数（R2実績）3件 （R3目標）7件 （R7目標）19件
- 事業目標：広島型MaaSのモデルの創出（R3目標）1件

事業費（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	42,000	0	0	0	0	0	0	0	42,000
要求額	42,000	0	0	0	0	0	0	0	42,000
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算・令和2年度2月補正

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費 款：土木費 項：道路橋梁費，河川海岸費，港湾費 目：道路新設改良費，海岸保全費，港湾建設費
担当課	地域力創造課，道路整備課，港湾漁港整備課
事業名	韮地区振興推進費（一部国庫）

目的

韮地区の再生・活性化に向けたまちづくりを促進するために、生活利便性の向上や安全・安心の確保などを図ることを目的とした韮地区の地域振興に係る事業について、福山市と連携・協力し、地元住民の方々と意見交換を重ねながら、取組を進める。

事業説明

対象者

韮地区の住民

事業内容

(単位：千円)

内 容		要求額	
		令和2年度 2月補正予算	令和3年度 当初予算
町中の交通処理 対策 【土木建築局】	バイパス機能としての山側トンネル及び関連事業の調査設計，用地買収，工事の実施	52,000	(債務9,000,000) 1,246,000
	江之浦～焚場間の交通処理対策に必要な用地買収及び道路拡幅工事等の実施	—	151,000
防災対策 【土木建築局】	西町・道越地区及び江之浦～焚場地区における護岸の工事等の実施	—	465,000
交通・交流拠点等の 整備 【土木建築局】	交通・交流拠点等の工事等の実施	—	872,000
寄附募集のための 情報発信等 【地域政策局】	① 福山市が平成29年度に策定した韮まちづくりビジョンを踏まえ、韮のまちづくりの取組に対する寄附を募るため、情報発信等を実施 ② 寄附募集によって集まった資金を福山市の基金に積み立てるため、福山市に交付する	—	18,083
合 計		52,000	(債務9,000,000) 2,752,083

成果目標

- R1実績
 - ・電線地中化工事，江之浦～焚場間の用地買収及び山側トンネルの整備に必要な調査・設計の実施
 - ・西町・道越地区の起伏式ゲートの整備，雁木復元工事，江之浦～焚場間の護岸等の詳細設計等の実施
 - ・「韮・一口町方衆」応援プロジェクトの発足，寄附金の収納（総額13,040千円）
 - 事業目標
 - ・韮地区住民の利便性向上及び安全・安心の確保
 - ・韮地区の再生・活性化の推進
- 〔R3目標〕 町中の交通処理対策，防災対策，交通・交流拠点等の整備及び寄附募集のための情報発信等の着実な実施

事業費 (単位：千円)

	事業費	財 源 内 訳								
		国庫 支出金	分担金・ 負担金	使用料・ 手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源	
査定額	令和3年度 当初予算	(債務9,000,000) 2,752,083	4,950,000 475,500	351,230	0	0	0	8,850	3,645,000 1,596,900	405,000 319,603
	令和2年度 2月補正予算	52,000	27,500	0	0	0	0	0	24,500	0
要求額	令和3年度 当初予算	(債務9,000,000) 2,752,083	4,950,000 475,500	351,230	0	0	0	8,850	3,645,000 1,596,900	405,000 319,603
	令和2年度 2月補正予算	52,000	27,500	0	0	0	0	0	24,500	0
前年度 当初予算額	(債務150,000) 1,343,846	82,500 270,000	131,685	0	0	0	8,850	60,700 714,800	6,800 218,511	

査定結果

要求どおり

令和3年度当初予算

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：地域振興推進費
担当課	市町行財政課
事業名	未来の地域づくり応援交付金事業（単県）【新規】

目的

市町の共通課題である「地方創生・人口減少対策」や「防災・減災対策」などの取組を、市町振興基金のうち公営競技施行団体からの均てん化寄附分（残高）を活用した交付金事業により、コロナ禍でも着実に推進する。

事業説明

対象者

県内23市町

事業内容

【市町振興基金充当】

区分	内容	要求額										
未来の地域づくり応援交付金事業	<p>各市町が地方創生や安全・安心なまちづくりの取組（メニュー）に必要な経費に対して、別に定める交付限度額の範囲で支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象事業 <ul style="list-style-type: none"> 下記メニューを実施するために必要なソフト・ハード経費 <table border="1"> <thead> <tr> <th>メニュー</th> <th>取組例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まちづくり</td> <td>医療・福祉の充実，生活交通の確保，生活基盤の安全・安心対策など</td> </tr> <tr> <td>ひとづくり</td> <td>子育て支援，産業DX・イノベーション人材の育成など</td> </tr> <tr> <td>しごとづくり</td> <td>地域産業の強化，定住対策など</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>その他，上記事業を中長期的に展開するための基金造成</td> </tr> </tbody> </table> <p>※内部管理経費は除く</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付限度額 <ul style="list-style-type: none"> 【基金への寄附関係団体（広島市，福山市，大竹市，廿日市市）】 予算総額の1/2を各団体の寄附拠出額により按分した額（ただし，下記団体の交付限度額を下回らないよう調整） 【その他市町（19市町）】 予算総額の1/2を均等に按分した額 交付率：定額 <p><経緯> 市町振興基金の寄附分（39.5億円）については，貸付事業の廃止に伴い，平成27年度に交付金として配分することを市町と合意し，平成28年度に32.5億円を交付しており，令和2年度末に償還が終了するため，追加交付する。</p>	メニュー	取組例	まちづくり	医療・福祉の充実，生活交通の確保，生活基盤の安全・安心対策など	ひとづくり	子育て支援，産業DX・イノベーション人材の育成など	しごとづくり	地域産業の強化，定住対策など	その他	その他，上記事業を中長期的に展開するための基金造成	701,387
メニュー	取組例											
まちづくり	医療・福祉の充実，生活交通の確保，生活基盤の安全・安心対策など											
ひとづくり	子育て支援，産業DX・イノベーション人材の育成など											
しごとづくり	地域産業の強化，定住対策など											
その他	その他，上記事業を中長期的に展開するための基金造成											

成果目標

○ 事業目標：「地方創生」や「防災・減災対策」などについて，市町の積極的な取組を促進し，地域の持続的発展を実現する。

事業費

（単位：千円）

	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金・負担金	使用料・手数料	財産収入	繰入金	諸収入	県債	一般財源
査定額	701,387	0	0	0	0	701,387	0	0	0
要求額	701,387	0	0	0	0	701,387	0	0	0
前年度当初予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

査定結果

要求どおり